



**山田洋次さん**  
映画監督・脚本家

ごく一般的な暮らしの中からあふれる笑いや涙を丁寧に描写し、人と人との関わりを奥行き深く描き続ける映画監督・脚本家。

市制施行80周年を記念して、平成28年(2016)に名誉市民に選定。

 市制施行85周年特集

# 語り継ぎたい 大切な思い

市の名誉市民で映画監督・脚本家の山田洋次さんと  
長内繁樹市長が市制施行85周年を記念して対談を行いました。  
移り行く時代の中でも、変わらず大切にしていきたいものや  
映画「キネマの神様」に対する思いを語っていただきました。

豊中市長

長内繁樹



名誉市民

山田洋次さん

映画監督・脚本家





## 市制施行

## 85周年記念

## スペシャル対談



「おかえり」って

皆さんから言ってる

もらえている気がします



### 今も心に残る

### 「おはようおかえり」

**市長** 今日はありがとうございます。豊中におかげさまで豊中市はこの10月で市制施行85周年を迎えます。

**山田** おめでとうございます。豊中には僕が生まれた家が今も残っていて、記憶の断片が呼び起こされます。

住んでいたのは2歳まででしたが、今ははっきりと記憶に残っているのは朝

出かける父を「おはようおかえり」と見送っていたことです。満州に行ってもこの言葉を使っていたので、周りの子たちからは「変な言い方をする子だな」と思われていたようです。「大阪の子か？」と言われたこともありました。

**市長** 監督の中に、今でも豊中での記憶が根付いていることがうれしいですね。監督の作品にはどこか豊中の面影を感じる、そんな風に思っている市民の方も多いと思います。これからも監督を「おはようおかえり」と見送りたいです。

**山田** ここに来ると、皆さんから「おかえり」と言ってもらえている気がして、本当にうれしいです。

**市長** 前回お越しいただいたのは2年前、「男はつらいよ お帰り 寅さん」の先行上映会のときでした。たった2年ですが、世の中は大変な状況になってしまいました。

**山田** そうですね。もちろん新型コロナウイルス感染症のこともありますが、個人の考えですが時代が進むにつれて日本人は元気がなくなっているように感じています。僕の青春時代は

日本人が積極的で前向きで、映画界もとても元気がありました。

**市長** ちょうど、高度成長期ですね。

**山田** その1960年代後半には、映画史に残るような大傑作もたくさん生まれました。そんなことを懐かしく思い出しながら作ったのが、先行上映会を開いてもらった「キネマの神様」なんです。

### こんな時代だからこそ

### 大切にしたいもの

**市長** 確かに、当時の懐かしさを作品から感じている自分がありました。

**山田** 近年、まちの小さな「お店屋さん」が日本から消えていっていますよね。コロナ禍で閉店に追い込まれてしまったお店も多いようで、本当に痛ましく感じています。

**市長** ネット通販などが主流になりつつありますが、顔と顔を突き合わせる関係は本当に大切ですよ。

**山田** まちのお店屋さんへ、子どもがお使いに行くとお店のおじさんやおばさんが頭をなでくれたり褒めてくれたりする、そんな環境がなくなっ

📷 DATE July.6.Tue

## 先行上映会にて



7月6日、文化芸術センター（曾根東町）大ホールにて映画「キネマの神様」先行上映会を開催し、山田洋次監督が舞台あいさつに駆け付けてくださいました。



当日の様子を  
こちらから  
ご覧ください



### 🎬 movie information



#### 「キネマの神様」

小説家・原田マハさんの同名小説が原作で、松竹映画100周年記念作品として制作された、「映画の神様」を信じ続けた男とその家族に起きる奇跡の物語。

©2021「キネマの神様」製作委員会

まうことは寂しいですね。ただ建物があつて人が住んでいるだけではまちははいえないと思います。人と人とのコミュニケーションがあるのが本当のまちはではないでしょうか。

**市長** 昔は当たり前のようにあつた、まちの文化を意識的に語り継ぐことや、人がいて、みんな誰かを思いやる、そういう姿が必要ですね。映画の中で印象的だったのは、「あなたのが好きなのよ」というセリフでした。後ろ姿に温かさがあふれ、ゆっくりとお互いの愛を確かめ合うシーンに涙しました。



**山田** ありがとうございます。少しでも幸せな気分になっていただけたならうれしいです。

**市長** とここで次の作品の構想はもう練っておられるのですか？



**山田** 考え始めてはいるのですが、なかなか焦点が定まらず、形にはできていないですね。

**市長** 「キネマの神様」にはコロナ禍の描写も入っていて、単なるノスタルジアとしてではなく現実感のある映画として見るのができました。

**山田** こんな時代だからこそ、ふさわしい作品が作れたらいいなと思つています。またこの場所で次の作品も上映できたらなと思います。

**市長** またそのときに監督にお会いできることを楽しみにしています。今日は本当にありがとうございます。



これからも監督を「おはようおかえり」と見送りたいです